

平成22年度 一般会計予算

質疑

総合斎苑の100人、150人のセシモニーホールの運営管理はどのように行われるのか。

また、各宗教や、家庭葬にも対応できるのか。全体の維持管理費は。

答弁

斎場全体を指定管理者で管理してもらう予定。ホールは、貸し館方式で行いたい。

各宗教に対応できる祭壇を備える予定。100名用の式場に移動間仕切りを設け、少人数でも対応ができる。

全体の維持管理費は、年間3千万円から5千万円程度と考えている。

質疑

社会福祉総務費の災害時の要支援者情報データベース化及び意識調査委託料について、自主防災会などに要請をしていくのか、データベースや意識調査などをどう生かしていくのか。

答弁

要援護者として、ひとり暮らし高齢者、身体障害者手帳の重度の方等、合わせて4千673名のデータを集約している。名簿から住宅地図のどこということがすぐわかるような形で集約し、いざというときに、名簿を各地区におろして、安否確認にすぐ利用してもらえる形にしていきたい。

今回の計画で自主防災会に平常時の見守りと、安否確認、情報伝達、避難誘導などをお願いする予定。22年度に、モデルで一、二カ所計画をしていく。

契約の締結

総合斎苑建設工事契約の締結

契約の相手方

鴻池組・桐美建設・渡辺工務
店建設工事共同企業体

契約金額

12億2千130万4千350円

契約の工期

契約の日から平成23年5月31日まで

質疑

この問題にかかわった市長、設計価格の積算にかかわった職員、業者、入札参加の業者に対して調査を行い、結果を市民に説明する責任がある。公正入札審査会など公的な会議を開いて調査をすべきだが。

答弁

3月18日に関係していた職員7人に、聞き取りをした。聞き取りの結果、特別問題になるような行動や行為は確認ができなかった。公正入札審査会は、開催していない。

規約の変更

海部南部水道企業団規約の変更

副企業長制の導入及び議会組織の見直しに伴い、企業団規約を変更するため、地方自治法の規定により協議する必要があるためです。

質疑

副企業長を置くことになった経緯は。副企業長は具体的にどんな仕事をしていくのか。副企業長の権限は。

答弁

企業長以外の市長・村長が、議員という立場で入るのは不自然。他の企業団を見ても、そういう企業団はない。

副企業長の立場は、他の組合の正・副管理者と同じように、企業長の職務代理。議会に出席する。正・副企業長会で企業団運営についても協議をしていく。

平成22年度 一般会計予算の主な事業

事業名	予算額
勝幡駅周辺整備事業	4億6,158万円
子ども手当	14億3,000万円
子ども医療費助成事業	3億4,250万円
5周年記念式典事業	194万円
マスコットキャラクター作製事業	819万円
民間木造住宅耐震化促進事業	1,250万円
小学校建物耐震補強工事	4億6,230万円
斎場建設推進事業	15億9,814万円
住宅用太陽光システム設置事業	1,000万円
公共下水道事業	10億9,092万円
庁舎整備基本計画の策定	1,160万円
巡回バス運行事業	6,572万円
放課後子ども教室推進事業	674万円
特別非常勤講師配置事業	2,071万円
(仮称)愛西市学校給食センター整備・運営事業 (平成22年度から平成38年度までの 建設費・運営費限度額)	42億4,282万円
愛西市・サクラメント愛知県人会等交流事業	760万円

